

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 24 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	戸室健作
研究課題	2017 年における都道府県別貧困率の実態解明と貧困の解消策の研究				
研究キーワード	非正社員、ワーキングプア、貧困、労働組合	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	3. すべての人に健康と福祉を	10. 人や国の不平等をなくそう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2017 年の都道府県別の貧困率、ワーキングプア率、子どもの貧困率、捕捉率については、2020 年度に測定・公表した。それらの数値を基にして、都道府県別貧困率の高低が生じる要因について、重回帰分析で明らかにすることを考えていた。しかし、貧困解消のための労働組合の取り組みにかんする聞き取り調査を 21 年度は連続して行ったために、重回帰分析による解明は 22 年度に試みる予定である。また、聞き取り調査の結果は、22 年度に報告書として公刊する予定である。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【解説（査読なし）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸室健作・久保貴裕「Q&A イチから教えて！自治体職員の働き方 第 4 回「民間委託・指定管理者制度」『季刊自治と分権』83 号、2021 年 4 月 10 日、104-113 頁。 戸室担当：「Q1 自治体で民間委託はどのくらい進んでいるのでしょうか？」105-107 頁、「Q2 民間委託で、どんな問題がおこっていますか？」107-108 頁、「Q3 委託労働者の待遇改善に向けて、何が必要でしょうか？」109-110 頁。 <p>3. 主な経費</p> <p>貧困問題と労働組合などをテーマとする書籍を中心に購入した。また、電子辞書を購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労務理論学会幹事（学会誌編集担当） ・ 労務理論学会誌編集委員 ・ 自治労連・地方自治問題研究機構「人事・給与研究会」委員 ・ 国公労連「公務員制度研究会」委員 ・ 労働運動総合研究所「雇用問題研究会」委員 ・ 労働運動総合研究所「若者の仕事と暮らしに関するインタビュー調査」メンバー ・ 連合総研「地域コミュニティの一翼を担う労働者自主福祉運動の人材育成等に関する調査研究委員会」委員 ・ 労働運動総合研究所理事 					
（本文は 2 ページ以内にまとめること）					